

議会だより

第 59 号

2020. 2 月

発行 / 八幡浜市議会

～令和元年 12 月定例会号～



総務産業委員会

～市の重要施策を審査～

- 市の考えを問う(5議員が一般質問)…………… P 3
- 各常任委員長報告…………… P 9
- 市民参加型議会を推進する特別委員会……… P 11
- 新たな門出を祝して！…………… P 12



議案等別表決一覧表

令和元年12月定例会（会期：令和元年12月3日～令和元年12月20日）

○：賛成、×：反対、－：退席、欠：欠席
 （※石崎久次議長は採決に加わっていません）

番 号	件 名 (摘要)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	審議結果
		高橋時英	遠藤綾	菊池彰	西山一規	佐々木加代子	竹内秀明	平家恭治	河野裕保	石崎久次	樋田都	新宮康史	上田浩志	井上和浩	宮本明裕	山本儀夫	大山政司	
認定第1号	平成30年度八幡浜市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	認 定
認定第2号	平成30年度八幡浜市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	認 定
認定第3号	平成30年度市立八幡浜総合病院事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	認 定
報告第13号	専決処分の報告について（「八幡浜港フェリー岸壁築造工事（その4）請負契約の締結について」の議決変更について）	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案承認
報告第14号	専決処分の報告について（「八幡浜港フェリー岸壁築造工事（その5）請負契約の締結について」の議決変更について）	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案承認
報告第15号	専決処分の報告について（「フェリーターミナルビル新築建築主体工事請負契約の締結について」の議決変更について）	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案承認
議案第68号	大島漁港再整備工事（その3）請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第69号	「（仮称）文化活動センター建設工事（設計・施工）請負契約の締結について」の議決変更について	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第70号	八幡浜市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第71号	八幡浜市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第72号	八幡浜市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第73号	八幡浜市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第74号	八幡浜市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第75号	八幡浜市社会体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第76号	八幡浜市保内地区町並み見学用駐車場設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第77号	令和元年度八幡浜市一般会計補正予算（第4号）	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第78号	令和元年度八幡浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第79号	令和元年度八幡浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第80号	令和元年度八幡浜市介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第81号	令和元年度八幡浜市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第82号	令和元年度八幡浜市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第83号	令和元年度八幡浜市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第84号	令和元年度八幡浜市港湾整備事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第85号	令和元年度八幡浜市水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第86号	令和元年度八幡浜市下水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第87号	令和元年度市立八幡浜総合病院事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案第4号	市民参加型議会を推進する特別委員会の設置について	×	○	○	×	○	○	○	×		×	○	-	-	-	○	○	原案可決

一般質問

5人が市政をたずねます！

11人が聞きたい！

今定例会では、5人の議員が一般質問に立ち、市長はじめ関係理事者の考え方をたずねました。

掲載は質問順で、質問及び理事者答弁は質問者本人が要約したものです。

なお、一般質問の詳細につきましては、会議録に掲載しています。

*会議録は、市議会ホームページ上（<http://www.city.yawatahama.ehime.jp/sigikai/>）、議会事務局、市立図書館、中央公民館、中央公民館保内別館でご覧になることができます。

質問者（質問順）	質問項目	ページ
遠藤 綾	① 市民の住宅環境の整備と地域共生を一体に ② 学校教育 ③ 幼児の命を守る	4
西山 一規	① ミュージックサイレンについて ② 八幡浜市のお金の流れについて	5
河野 裕保	① 八幡浜市における観光施策等について	6
佐々木加代子	① ドライブレコーダーの公用車への設置について ② AEDの屋外設置について ③ 液体ミルクの無償配布について	7
高橋 時英	① 地域紙終刊に伴う「広報やわたはま」の充実について ② キャッシュレス社会に対応した取り組みについて	8

～ 議会を傍聴しませんか～

次の定例会は3月に開かれます。

傍聴席は八幡浜庁舎7階にあり、52席用意しています。

傍聴席入口には、受付簿を置いていますので、氏名、住所等をご記入のうえ、傍聴してください。

～ インターネット配信について～

インターネットで本会議（開会日、一般質問）の中継録画を配信しています。

八幡浜市議会ホームページからご覧ください。

[こちらからアクセス](#) ⇨



遠藤

綾議員



保育所の耐震化と児童センターを！

市長

保育環境整備、早く結論出したい

市営住宅の入居基準と整備について

問 広報で市営住宅を募集する際、入居の収入基準は、所得から各種控除を引いた額である。対象かどうかは住宅係に確認するよう記載すべきでは。

答 「申し込みについては、お問い合わせ下さい」等の一文を入れたい。

問 古くなった市営住宅を建て替える計画はあるか。

答 建て替え計画はない。長寿命化計画に沿って耐震化・外壁工事・屋上防水工事などで住宅水準を確保したい。

問 長寿命化の対象外の市営住宅で壁などの修繕要請があった際の対応は。

答 それぞれの修繕の必要性が分かり次第、修繕している。

問 今後、住宅に困る単身の高齢者が増えることが予想される。単身者可の住宅をもっと増やすべきではないか。

答 単身者のニーズや市営住宅の空き状況を考慮し、検討していきたい。

問 連帯保証人の要件を見直してはどうか。

答 他市動向を見ながら検討したい。

要望 単身者同士の入居やリフォームなど、時代の変化や実態に合わせて要件を見直し入居率を上げ、快適に住み続けられるよう整備していくほしい。

教員の勤務実態といじめや体罰について

問 当市の教員の勤務実態は。

答 10月調査で、小中学校教員の時間外勤務は、文科省ガイドラインの月45時間を超える教員が、小学校53%、中学校57%、過労死ラインと言われる月80時間を超える教員が、小学校5%、中学校29%であった。

問 時間外勤務を減らす取り組みは。

答 中学校の部活では、活動計画等を作成し、平日・休日とも休養日を設置、人員配置や事務処理の効率化等を教育委員会がリードし働きかけている。

問 教師から子どもへの体罰はあるか。体罰をどう定義しているか。

答 体罰はない。授業中、長時間立たせるなども含まれると捉えている。

保育士の配置と保育所の耐震化について

問 保育園の保育士の配置基準は。

答 0歳児3名に対して保育士1名、

1〜2歳児6名に1名、3歳児20名に

1名、4〜5歳児30名に1名で配置。

配慮を要する子ども1名にはパート職の保育士1名を多く配置している。

問 各保育所は定員に対し空きはないのか。年度途中で移住してきた2歳児を預けようとして断られたと聞いた。

答 市内保育所9か所は定員を満たしていないが、保育士不足で、特に低年齢児の途中入所は断ることもある。年度当初は調整し職員を配置している。

問 年度途中でも、空きのある保育所で保育士を雇って受入れできないか。

答 年度途中は、直ちに臨時保育士が見つかるとは限らず、他市でも同様であり、現状で適宜対応するしかない。

問 地域活性化の意味でも、各地区に保育所を残し、愛宕、神山、千丈保育所はすぐに耐震化すべきではないか。また、児童センターを旧八幡浜市の中心地に新設してはどうか。

答 各地区で保育環境は必要だ。園庭拡張も踏まえ早く結論を出したい。現児童センターも幼児から高校生まで利用がある。利便性も踏まえ検討したい。



西山一規議員



ミュージックサイレンを観光資源に！

市長

文化財としての保存も視野に取り組みたい

ミュージックサイレンについて

問 ミュージックサイレンの概要と仕組みを伺う。

答 平成5年2月に総工費1千534万7千円で設置し、八幡浜市市政施行記念日に供用開始された。それ以前は、時報塔のサイレンにより6時、12時、18時の時報を鳴らしていたが、音が大きく改善要望があり、ソフトにメロディーを奏でるミュージックサイレンを導入した。仕組みは、遠心力で空気を圧縮し、内部ドラムの窓の開閉によって音を出す構造で、ドラムの回転数と窓の数で音の高さが決まる。

問 現在は全国で5台しか稼働していない貴重な物だが、メーカーサポートが終了した今、どのように維持していくのか。

答 設置業者である南海放送音響照明株式会社と年2回の保守点検の契約を締結し、不良箇所を早期発見に努め、可能な限り維持していきたい。仮に修理不能の場合でも、録音した音を防災行政無線で流すなど、別の手段を検討したい。

問 大音量を体で感じるほど近寄れるのは日本でここだけ。車でも簡単に近寄れるため、観光資源としてPRできる

いか。
答 観光資源になり得るかもしれない。屋内での文化財としての保存も視野に取り組みしていきたい。



愛宕山に設置されているミュージックサイレン（左側）

八幡浜市のお金の流れについて

問 八幡浜市全体の入ってくるお金、出ていくお金、市内で動くお金は、どのようになれば景気が良くなるのか。

答 市に入ってくるお金が増え、市内で投資・消費されれば景気の向上につながる。市から出ていくお金は景気に負の要因となる。

問 景気が良くなるための現在の取り

組みと今後の取り組みについて伺う。
答 企業誘致に努めており、昨年10月に、ベネフィットワンのサテライトオフィスを当市に開設されたのも成果の一例。観光に関して、昨年12月にふるさと観光公社を設立し、地域資源を生かした魅力的な観光商品の造成に今取り組んでおり、修学旅行の誘致など観光消費額の増加を図りたい。市内事業者の販路開拓や市内産品のPRにも力を入れており各商談会への出展支援、台湾での八幡浜フェアの開催、ふるさと納税の推進、マーマレード大会や産業まつりなどもその取り組みである。
要望 八幡浜市民全体が、できるだけ市内でお金を回す意識を持つことが大事で、税金から報酬を頂く行政職員、市議会議員は特に意識して取り組んでいくべきではないか。



河野裕
保議員



みなとから市内周辺への誘客は！

商工観光課長

体験プログラムを整備して誘致

全国的知名度（景勝地・歴史的建造物）に引けを取らない観光資源の開発について

問 本市は、年間を通して安定的に観光客を誘致できる全国的な景勝地や歴史的建造物等の観光資源に乏しく、「みなと」を訪れた観光客等が市内周辺への誘客に繋がっていないとのことであるが、対応策は。

答 八幡浜市には歴史的建造物等の観光資源は豊かでないが、現在、着地型観光推進体制整備事業を委託している、一般社団法人八幡浜ふるさと観光公社が、八幡浜市ならではの自然や町並み、仕事や暮らしを地域の方々との交流を通して体験することで、田舎暮らしの魅力や豊かさを実感してもらおう体験プログラムの整備を進めている。このことよって、八幡浜市を訪れる人たちが継続的に八幡浜市と関わりを築いていけるような機会を提供する。

観光客1人当たり消費単価千円について

問 現時点での年間の観光客数177万8千700人、観光消費額18億4千327万円、1人当たり旅行消費額約

千円。宿泊総数の割合が5%前後で観光消費が弱く地域経済の効果が小さいとあるが、なぜそうなっているのかの理由を伺う。

答 平成30年観光客数とその消費額調査によると、愛媛県全体の1人当たりの消費単価は約4千500円で、当市の消費単価はかなり低いものとなっている。

当市は観光地でないことから、観光客向けの定評あるお土産が十分知られておらず、購入できる場所も限られていることが消費単価低迷の一因である。また、観光客の当市への滞在時間が短いことも原因の一つと推測される。消費額を上げるためには当市名物のお土産を広くPRし、宿泊を含め当市への滞在時間を長くすることが必要であり、八幡浜市ふるさと観光公社で地域文化、歴史、自然といった地域資源を生かした当市でゆっくり楽しめる体験型観光コンテンツの造成に取り組んでいる。

みなとと来場者数100万人の消費動向等の分析について

問 観光産業における稼ぐ力ということに関して、年間来場者数100万人は大きな意味を持つが、この100万人とはいかなる人たちであって、どの

ような消費動向にあるのか。

答 来場者に関するアンケート調査を平成29年9月15日の平日と、9月18日の祝日の2日間、調査員が来訪者への聞き取り調査と、9月中旬から下旬にみなと内の各施設でのアンケート用紙を設置する方法で実施し、930人から回答を得た。

結果を見ると、来訪者の住所地は、八幡浜市39%、南予地方20%、松山市13%、県外22%、海外は3人である。市外からの割合は平日が53%、祝日が65%の結果を得た。交通手段は、回答者全体では、自動車が78%を占めていた。来訪の目的は、食品等の買い物は59%と最も多く、次に食事が23%、お土産等の買い物は22%である。八幡浜みなとでの買い物、食事等の金額は千円未満が19%、3千円から5千円が14%で、平均金額は2千671円である。なお、1万円以上と回答した方は4%であった。



産業まつりでにぎわうみなと

佐々木加代子議員



災害用備蓄品として液体ミルクの導入予定は！

副市長

他市の状況を見ながら検討したい

ドライブレコーダーの公用車への設置について

問 全国的にあり運転が社会問題化している。愛媛県警によると、あり運転に関する110番通報が8月末時点で230件に上り、前年同期比123件増と2倍以上になるといふ。昨年6月議会でドライブレコーダーの公用車への設置を要望したが、その後の設置の効果と認識の変化について伺う。

答 ドライブレコーダーは職員の交通安全意識及び運転マナーの向上並びに事故発生時の原因究明に必要と考え、昨年更新時より新規購入した公用車4台に設置したほか、今年度からは新規購入車両だけでなく、既存の公用車についても51台分の予算を計上し、入札により現在各課の対象車両に設置しているところで、公用車120台の内58台に設置することとなる。

問 現在設置している車両、していない車両について、設置基準等はあるのか。

答 今回購入したドライブレコーダーについては、既存の公用車の更新も考慮し、購入後10年以内の車両を設置対象としている。

問 今後の交通事故減少に向けての取

り組みは。

答 職員に対しては、平日頃より私生活を問わず交通法規を遵守し、安全運転に努め市民の模範となるようあらゆる機会を捉えて注意喚起している。その他、平成27年度からは自動車教習所において、新規採用職員、35歳になる職員及び交通事故を起こした職員を対象に運転技能講習を実施している。

ドライブレコーダーの記録を活用した職員への指導、他市の取り組みなども研究しながら、より効果的な安全運転対策に取り組んでいきたい。



公用車に設置されたドライブレコーダー

AEDの屋外設置について

問 24時間使用できる環境を作るといふ観点から、夜間も使用する施設である小・中学校への屋外設置を要望したいがどうか。

答 市内の小・中学校17校には1台ずつ設置している。そのうち13校については、既に屋外でも利用できる場所に

移設している。残る4校についても今年度中に屋外へ移設予定である。

液体ミルクの無償配布について

問 普段使用したことがない液体ミルクをたとえ災害時といえども小さな我が子に飲ませることに抵抗を感じるのは、当たり前なこと。災害時にも不安なく使用できるように、健診時や保健師による全戸訪問時などで無償配布を行っているかどうか。

答 万一の災害時にも安心して使用できる周知を行うとともに、夜間や外出時の育児負担の軽減に活用するなど、授乳の1つの選択肢として周知を図ってまいりたい。

問 災害用の備蓄品として液体ミルクの導入予定はあるか。

答 災害時の有効性の検証や賞味期限切れ前の有効な活用方法の検討など、災害用備蓄品としての導入に向けて他市の状況を見ながら検討したい。



液体ミルク

高橋時英議員



市民が主役の広報紙へ！

総務企画部長

市民が楽しめるよう検討したい

地域紙終刊に伴う「広報やわたはま」の充実について

問 時代の流れと共に、広報事業についても見直しが必要になってくるが、紙媒体での広報も必要であると考え、今後の市の広報事業について考えを伺う。

答 紙媒体は継続するとともに、若者から高齢者まで利用層が広がるSNS等に着目し、八幡浜市公式フェイスブック「八ちゃんねる」による情報発信にも力を入れ取り組んでいきたい。

また、購読料を取ってデジタルで配信する地元紙が実現できないかと思っている。

問 全国広報コンクールで内閣総理大臣賞を受賞した内子町の「広報うちこ」は、町民が多く掲載されている町民主体の広報紙である。行政主体の当市との違いについて感想を伺う。

答 「広報うちこ」は親しみやすく、読みやすいように感じる。当市は、まずは市民にとって必要な行政情報を見やすく、分かりやすく掲載することが重要と考える。機能的であることを第一に、さらに様々な工夫によって多くの人に親しまれることが大切である。当市でも、平成29年度より画像中心

の構成にし、限られた人員やスペースの中で工夫をしている。

問 当市の広報紙には、地域コミュニケーション関連は、ほとんど掲載されていない。地域紙終刊に伴い、その役割を担い補完するためにも、市民が主役の広報紙へと内容を刷新してはどうか伺う。

答 新しい形の広報紙作成に徐々に取り組んでいるが、庁内外からの広報紙への掲載依頼は増加傾向にあり、全ての情報を掲載することができない状況である。広報紙が地元紙の役割を担うことはできないが、市民が楽しめる「広報やわたはま」づくりとなるよう検討していきたい。



全国広報コンクールで日本一に輝いた「広報うちこ」(2018年12月号)

キャッシュレス社会に対応した取組について

問 新居浜市が、納税証明手数料等を、QRコード決済で支払える実証実験を始めた。当市でも電子マネー、QR決済等の導入の検討をしてはどうか伺う。

答 キャッシュレスは、手軽で便利な反面、日常の小さな買い物に至るまでの個人情報が集積され、また一旦確立してしまえば、小売店に対し手数料等、支払いシステムを運用する側の支配権が強まる懸念がある。税金等については手数料分が減収となることから、従来の銀行口座からの天引きを優先すべきであると考えているが、懸念点に留意しながら、進めていく必要があると思っている。

問 商工会議所と連携をしてキャッシュレスを推進しつつ、広島県庄原市東城町のような地域でお金が回る仕組みづくりを検討してはどうか伺う。

答 キャッシュレス決済の推進については、6月に八幡浜商工会議所でセミナーが開催された。今後は、キャッシュレス決済の導入推進について事業者、商工会議所及び商工会等で有効性や利便性を考慮の上、協議検討していただき、市としても必要に応じて連携、支援したい。

総務産業委員会



総務産業委員長
西山一規

大島漁港浮防波堤
再整備工事の入札方法は

大島漁港再整備工事（その3）請負契約の締結について

問 今回の入札には、1社しか応札がなく競争性がない。そのことをどう捉えているのか。

答 今回の入札の資格要件としては、特定建設業の許可を受けていること、当市に鋼構造物工事の工種で登録されていること、本店、支店、または営業所が四国内にあること、鋼構造物工事の格付け総合数値が700点以上であること、国内において平成20年度以降にこのPCハイブリッドポントーンの製作を元請として施工した実績があること、等とした。この資格要件で、四国内で4社に参加資格があることは確認できたが、結果として1社のみが応札となった。

問 応札した業者が1社のみであるため、競争性について疑義が生じるが、資格要件の枠を広げるなどして、もう

一度入札を行う考えはなかったのか。

答 当市では平成29年10月より、電子入札を行っているため、実際に落札した業者であっても他に何社も落札しているのかについては分からない状況である。そして、その結果、1社のみとなった場合であっても、その業者は競争性を発揮して入札しているものと考えている。近隣では、西予市は1社のみの場合、やり直しとしているが、大洲市、宇和島市においては同様の方法をとっていることから、現段階では、このやり方を変更する考えはない。

また、さらに要件の枠を広げることについては、競争性の確保や地元業者の育成という観点も考慮し、総合的に検討していきたい。

問 今回の一般競争は、落札率が99.1%であったが、近年の落札率の平均値はいくらか。

答 近年の一般競争入札における落札率の平均については、平成28年度が96.4%、平成29年度が92.2%、平成30年度が89.1%である。

問 今回の落札率が高くなった要因をどのように考えているのか。

答 今回の工事は非常に特殊であるため、県内においてもこのPCハイブリッドポントーンを製作できる場所はなく、実際には製作のほとんどを下請けに出

さざるを得ないという実情があるため、落札率が高くなったものと理解している。



大島漁港に設置されている浮防波堤

既設 21m×7m 4基 ⇒ 新設 45m×7m 2基

八幡浜市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 今回の改正は、国の人事院勧告によるものであるが、住居手当に関しては国の公務員宿舎使用料の引き上げに伴うものであり、それをこの地域に当てはめることについては疑問である。この改正に伴って、当市において住居手当が増減する職員は何名か。

答 今回の改正により、市立病院の職員も含めて、住居手当が減額になる職員が93名、増額になる職員が29名、増減のない職員が1名である。

問 県内の他市において、国ではなく、愛媛県の人事委員会勧告に準拠している自治体はあるのか。また、ある場合、今回の住居手当改正はどう扱っているのか。

答 県内においては、東温市と西予市が県準拠で行っているが、これは両市が合併以前の町であった時から県準拠で行っていたという経緯があるものと考えている。また、その両市においては、今回の住居手当の見直しは見送っている。

問 今後は、当市においても愛媛県の人事委員会勧告に準拠して改正を行うほうが、より地域の実情に応じた給与体系等になると考えるが、どうか。

答 当市では過去からずっと国に準拠して行ってきたという経緯があり、現段階では国に準拠して行いたい。



人事院

民生文教委員会



民生文教委員長
竹内秀明

**（仮称）文化活動センター
建設工事増額の理由は**

「（仮称）文化活動センター建設工事（設計・施工）請負契約の締結について」の議決変更について

問 今回の議決変更により、総事業費は、当初契約額の約11億3千万円から、いくらの増額となったのか。

答 今回の変更により、約1億5千万円の増額となるため、総事業費としては、約12億8千万円となる。

問 この総事業費のうち、国の補助額及び市の持ち出しは、いくらになるのか。

答 国庫補助対象額は約9億5千万円となっており、その2分の1が補助される。また、市の持ち出しについては、合併特例債の活用を予定しており、3年の据え置きで、15年の償還期間を設けており、実質の市単独費用は約2億7千万円となっている。

問 今回の増額の理由として、土壌が

ら自然由来のヒ素が検出されたことがあるが、土壌の処理や搬出にどのような影響が出たのか。

答 汚染土壌を場外に搬出する場合には、「管理型処分」という周りに影響を及ぼさない形で造られた処理場において、埋立処分を行わなければならないことに加え、当初想定していた処理場よりも距離が遠くなったことで土壌運搬費も増加する形となった。



（仮称）文化活動センター完成予想図

予算委員会



予算委員長
平家恭治

**豚コレラ発生時
行政機関の対応は**

アフリカ豚コレラ侵入防止対策緊急支援事業費補助金について

問 事業者の個人負担割合はいくらか。また、対策のいかなくアフリカ豚コレラがもし発生したらどのような対応になるのか。

答 負担割合については、国が2分の1、県と市がそれぞれ5分の1ずつで9割の補助があり、事業者は1割と消費税分を負担する形になる。

もし、アフリカ豚コレラが発生した場合が県の機関である南予家畜保健所が主体となって対策を行い、発生した市町は会議等に出席して現場での対応の予備員という位置づけになっている。

問 この補助金を利用するには、なにが条件があるのか。

答 事業実施主体が公益社団法人愛媛県畜産協会であり、そこに所属していれば補助金を利用することができる。

問 どういったものを設置するのか、また、この事業は令和元年度末までに終える予定なのか。

答 設置内容については鉄筋柵、金網柵、稼動柵の3種であり、今年度末までに完成する予定である。



令和元年度 八幡浜市一般会計補正予算（第4号）について

問 「発達支援センター築立ち」で8名の臨時職員の方がいるが、療育に関する研修等を行っているのか。

答 県の障害児通園事業所が加盟している団体が主催する研修や、県全下の従業員対象の研修に毎年度1回参加しているほか、南予、また近隣の西予市・



発達支援センター 巣立ち
七夕の飾りつけ

大洲市の事業所と交流する形で勉強し
あう研修に参加している。

問 現在ある「巣立ちクラブ」、そして
新しくできた民間の「めだかミニスクー
ル」は、利用時間は重複しているのか。

答 「巣立ちクラブ」は、障害福祉サ
ビスの1つで「放課後等デイサービス
事業」が正式な名称である。対象は小
学校から高校までの児童生徒で、放課
後等とあるように利用時間は、概ね15
時から17時までとなっており、夏休み、
冬休み等については、終日受け入れを
している。

「めだかミニスクール」についても、
「巣立ちクラブ」と同じサービス区分
になるため利用時間が重複する部分も
ある。定員がどちらとも10名であるの
で、1日で受け入れができる人数を超
えた場合は、「巣立ち」に回われている
方が「めだかミニスクール」を利用さ
れることもある。

**(仮称)文化活動センター建設工事費
について**

問 工事完成が当初予定の来年2月29
日から7月31日に遅延したことに対す
る請負業者へのペナルティーはない
のか。

答 工事完成がずれ込んだことの原因
については、ヒ素が出てきたとか全体
の地盤調査をしたことも影響している
が、一番大きな原因は舞台機械装置の
設置について施工会社が十分な見込み
をできていなかったことにある。当初
1カ月程で完成する予定であったが、
よく確認すると設計から起こしてやら
なければならず4、5カ月かかるとい
うことで、それが一番の原因である。

基本的には請負者側に責任があると
思っており、何らかのペナルティーが
あってもいいと考えている。行政処分
がいいのか、けん責処分がいいのかを
含めて、まだ工事途中であるので工事
完成した段階で、そのことについて最
終的に意思決定したいと考えている。

問 (仮称)文化活動センターが完成
後、総合福祉文化センターの今後の使
途については、どうなるのか。

答 (仮称)文化活動センターの中ホー
ルの完成が7月下旬ということもあり、
当面は会議室やギャラリー中心の運営
になるので、総合福祉文化センターも

機能として1年間は残す必要がある。
1年たったあとで果たして総合福祉
文化センターの機能を残す必要がある
のかといえは必要はないと考えている。
基本的には会議室やイベントの大部分
は(仮称)文化活動センターに集約で
きると考えている。ただスポーツ施設
については、維持する必要があると思っ
ており、それを含めて総合福祉文化セ
ンターをどのように活用するのか、ま
たいろいろな申し出もいただいております。
全体の中で検討していきたいと考えて
いる。

市民参加型議会 推進するための特別委員会設置

12月市議会定例会最終日、議員提出議
案「市民参加型議会を推進する特別委
員会の設置について」が可決されまし
た。その特別委員会設置の趣旨を次の
とおり掲載します。

趣旨 議会は二元代表制の一翼として、
市民を代表する議決機関であることも
に、「市民のための市議会」であること
が重要であります。市民のニーズに対
応した政策を提言、立案するためには、
市民に向き、または迎え、直接対話

をしていくことが大前提であります。
そこで、「市民が参加できる議会」を
実現させるため、特別委員会を設置し
協議を行いたいと考えております。

名 称	定 数	付議事件	設置期間	委員会構成
「市民参加型議会を推進する特別委員会」	「9名」	「議会タウンミーティング等に関する調査・研究について」	「設置の日から調査終了の日まで、なお閉会中も調査及び研究を行う。」	委員長 平家 恭治 副委員長 菊池 彰 委員 高橋 時英 遠藤 綾 佐々木 加代子 竹内 秀明 新宮 康史 上田 浩志 宮本 明裕

新たな門出を祝して！

成人のみなさんおめでとう

八幡浜市

祝 辞

八幡浜市議会 議長

石崎久次 様



編集後記

当市で90年以上前に創刊され、地元のニュースを詳報し続けてきた「八幡浜新聞」が、昨年末で終刊しました。市内には、終戦直後発刊の「八幡浜民報」が2015年終刊、1975年創刊の「南海日日新聞」が2008年休刊となっており、これで当市の地域紙は、すべて姿を消すことになりました。アットホームで、とても好感の持てるものだっただけに、終刊のニュースはととても残念です。

今回終刊された「八幡浜新聞」はじめ、「八幡浜民報」「南海日日新聞」におきましても、地域に現場を持ち、そこに大きな根っこを張って取材していただきました。なかなか鋭く、しかし味わい深く温かみのある記事も多く、さまざまな地域課題の掘り起こしだけでなく、課題解決に向けてヒントを頂きました。

関係者の皆様、本当にありがとうございました。今後とも八幡浜市発展のために、今までとは違った形でご教示いただけたらと思います。

共に頑張りましょう。

高橋 時 英

《議会だより編集委員会》

委員長 菊池 彰
副委員長 高橋 時 英
委員 遠藤 綾

西 山 一 規
佐々木 加代子
竹内 秀明
平家 恭治

八幡浜市議会事務局

TEL 22-5998

市議会の詳しい情報は、八幡浜市議会のホームページをご覧ください。

八幡浜市議会 検索



「やわたはま議会だより」は、環境にやさしい植物油インキと再生紙を使用しています。